

第4期・第5期 物流現場改善交流会 申込書



- 毎月1回、参加会員企業の物流センターにて現場改善会を開催(1社につき2回)
- 現場改善会では見学に留まらず、問題点抽出ならびに改善案を議論、できる範囲で改善を実行する
- 全参加企業の訪問終了後、最終報告会を実施。企業単位で自社物流センターの残課題について実改善状況を報告する

開催概要

- 1) 時期 **2026年9月-2027年7月、10月**
※2026年9月に座学実地講習・2027年10月に最終報告会を予定
- 2) 頻度 **毎月1回開催**
- 3) 運営メンバー
事務局／主催：一般社団法人国際物流総合研究所 (仙石恵一、齊藤勇一)

申込対象

- ・原則として物流センターを運営する物流会社
- ・参加者メンバー(若手物流人材)1社3名+派遣責任者1名
※参加者には管理職を含まない
- ※派遣責任者は、現場改善会運営上の窓口責任者

会費

年間72万円(税抜)／社 (責任者1名、参加メンバー3名)
※参加する若手メンバーは基本固定で1年間活動
※当日は、各社、参加メンバー3名+引率者1名まで可

特典

- ・事前学習用の教材として「新人IEと学ぶ、実践IEの強化書」各社3冊配布
- ・物流現場改善交流会修了証書授与



参加申込方法

1. 下記申込書に必要事項を記入の上、FAX 又はメール添付にてお送りください。
2. お申込確認後、「請求書」をご郵送致します。
3. 毎月の開催案内と出欠の確認については、記載頂いた派遣責任者・参加者にお送りします。

その他

- ・ご案内事項に変更が生じる場合がございます。予めご了承下さい。
- ・その他不明な点は、以下担当までお気軽にお問合せください。

担当：齊藤・矢野
 連絡：03-3667-1571
 E-mail：genbakaizen-koryu@e-buturyu.jp

ご記入の上、FAXもしくは、メール添付にてお送りください。

国際物流総合研究所行

FAX:03-3667-1581

E-mail:genbakaizen-koryu@e-buturyu.jp

会社事業所名 (フリガナ) ()	支払予定日
	月 日 支払予定
派遣責任者 (フリガナ) ()	所属・役職名
勤務先住所 〒	TEL : — —
	携帯 : — —
	E-mail
受講者 1 (フリガナ) ()	所属・役職名
勤務先住所 〒	TEL : — —
	携帯 : — —
	E-mail
受講者 2 (フリガナ) ()	所属・役職名
勤務先住所 〒	TEL : — —
	携帯 : — —
	E-mail
受講者 3 (フリガナ) ()	所属・役職名
勤務先住所 〒	TEL : — —
	携帯 : — —
	E-mail

【個人情報の取り扱いについて】

1. 個人情報は「国際物流総合研究所 主催 物流現場改善交流会」の事業実施に関わる資料等の作成ならびに当研究所が、主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
2. 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

若手が伸びる
現場で学ぶ

第4期、第5期

他物流企業と共に改善する

物流現場改善交流会

日程：2026年9月～7月(月1回) + 報告会(10月)
 時間：10:00-18:00
 会場：参加企業の物流センター(各社1箇所)
 募集対象：物流センターを運営し、見学等が可能な物流企業様
 参加対象：若手物流人材、センター長候補など



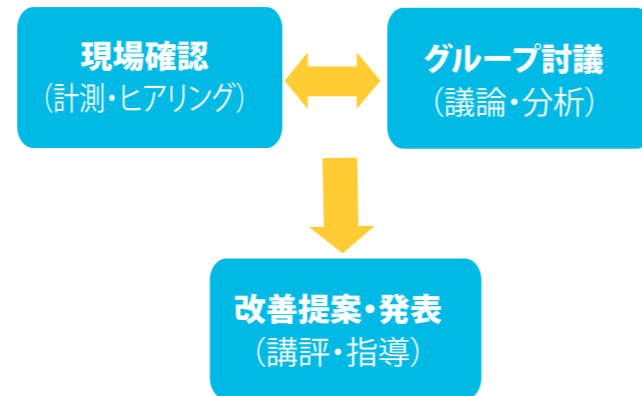
若手が伸びる 現場で学ぶ

第4期・第5期 物流現場改善交流会 対象 若手物流人材・センター長候補 など

企業の垣根を越えて物流現場改善ができる若手を実践的に育成

物流現場の改善力は、現場に宿る……。荷主の要求、商材の特殊性、自社の置かれた現状と方針。様々な要因により物流現場は日々変化し、それに対応しながら、物流現場の生産性を高める。そんな日々を過ごす優秀な若手だからこそ、できるだけ多くの物流現場を知り、多くの商材特殊性を知り、他社のやり方・考え方を学びながら更なる成長曲線を描き、自社のエースとして活躍してほしい。そんなお客様の要望から生まれたのが、「物流現場改善交流会」です。

参加物流会社様に自社センターを1箇所会場として提供頂き、参加社に課題の改善提案を求めます。参加企業は、初めて見る物流現場の課題解決に向け、グループに別れて問題点抽出から改善案を討議し、発表していきます。講師からは、IE手法、QC手法を段階的に指導します。



他社のセンターを知る

同じ物流であっても、他社のセンターの運用方法・課題を知る機会はありません。改善提案の目的で挑んだ結果、自社センターの改善のヒントを得る機会にも繋がります。

他社の同年代と繋がる

他社の同年代はどのような事を考えているか、自分はどのレベルの人材なのか、大いに刺激を受けながら、同じ目的で学んだ同志として強力な人脈形成の機会となります。

IE手法・QC手法を学ぶ

物流現場改善の基本技術として、IE手法とQC手法を学んで頂きます。学んだ知識をその場で討議し、実践する方式のため、参加者の成長が非常に見えやすい研修です。

参考スケジュール 10:00~18:00

※参考スケジュールになります。実際のスケジュールと異なる場合がございますが、ご了承ください。

座学・実地講習 9月	第1回 10月	第2回 11月	第3回 12月	第4回 1月	第5回 2月	第6回 3月	第7回 4月	第8回 5月	第9回 6月	第10回 7月	最終報告会 10月
※1) 参加企業センター	A社 物流センター	A社 物流センター	B社 物流センター	B社 物流センター	C社 物流センター	C社 物流センター	D社 物流センター	D社 物流センター	E社 物流センター	E社 物流センター	都内会場予定
センター説明見学	センター説明見学	グループ討議	センター説明見学	グループ討議	センター説明見学	グループ討議	センター説明見学	グループ討議	センター説明見学	グループ討議	
座学講習	グループ討議	グループ討議	グループ討議	グループ討議	グループ討議	グループ討議	グループ討議	グループ討議	グループ討議	グループ討議	
昼食休憩	昼食休憩	昼食休憩	昼食休憩	昼食休憩	昼食休憩	昼食休憩	昼食休憩	昼食休憩	昼食休憩	昼食休憩	
座学講習	グループ討議 (議論・分析) ↓ 現場確認 (計測・ヒアリング)	グループ討議 (議論・分析) ↓ 現場確認 (計測・ヒアリング)	グループ討議 (議論・分析) ↓ 現場確認 (計測・ヒアリング)	グループ討議 (議論・分析) ↓ 現場確認 (計測・ヒアリング)	グループ討議 (議論・分析) ↓ 現場確認 (計測・ヒアリング)	グループ討議 (議論・分析) ↓ 現場確認 (計測・ヒアリング)	グループ討議 (議論・分析) ↓ 現場確認 (計測・ヒアリング)	グループ討議 (議論・分析) ↓ 現場確認 (計測・ヒアリング)	グループ討議 (議論・分析) ↓ 現場確認 (計測・ヒアリング)	グループ討議 (議論・分析) ↓ 現場確認 (計測・ヒアリング)	参加企業単位での最終報告
まとめ											修了式
※2) 懇親会を予定	グループ中間発表	グループ最終報告	グループ中間発表	グループ最終報告	グループ中間発表	グループ最終報告	グループ中間発表	グループ最終報告	グループ中間発表	グループ最終報告	

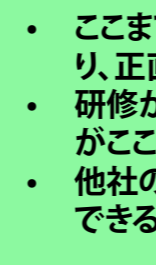
※1) 参加企業確定後調整予定
※2) 時間等は参加企業と相談の上実施予定

卒業生・引率者の感想



卒業生の感想

- 異なる業態の運用事例を知り、自社の業務を相対的に捉える視点を得られた
- 自社センターでの回では、現状の運用が「正」という認識が残っており、他社様からの指摘は新たな気づきとなった
- IE手法を用いた運用改善はコストや安全に直結する内容であり、物流営業を行ううえでも、必要な項目だと実感
- 実践的な研修内容だったので、多くの人にこの研修を受けてもらいたいと感じた
- 改善活動では「正解を出すこと」よりも、課題を構造的に整理することの重要性を学んだ
- 重要なのは課題の洗い出しとそこに対するアプローチ→見直し・評価であり、今後も継続して取り組みたい
- 物流会社の悩みにはある程度共通点がある＝解決方法も共通するはず



引率者(メンター)からの感想

- ここまでガチの研修とは思っていませんでした。活発な議論、現場見学をしており、正直驚きました。参加者の成長が楽しみです
- 研修が始まった頃一度引率で参加、久しぶりの参加となりましたが、発表内容がここまでレベルアップしているとは驚きました
- 他社の物流を見学する機会も少ない中、他企業の方と共に改善提案まで実践できる機会は非常にありがたい。今後も継続して参加させて頂きたい